

平成 17 年度

建設局予算要求方針

- 目 次 -

1	平成 17 年度予算要求にあたっての基本的考え方・・・・・・・・・・	1
2	平成 17 年度建設局予算要求総括表・・・・・・・・・・	2
	【一般会計】	
	【特別会計】	
3	予算要求の重点事項・・・・・・・・・・	4
	(1) 元気な経済が生まれ、安心して働ける街さっぽろ	
	(2) 健やかに暮らせる共生の街さっぽろ	
	(3) 世界に誇れる環境の街さっぽろ	
	(4) その他の重点事業	
4	事務事業の総点検・・・・・・・・・・	11
	(1) 事務事業の見直し	
	(2) 受益者負担	
	(3) 団体補助金	
	(4) 事業の選択と集中によるもの	
5	主要事業の概要(トピック)・・・・・・・・・・	13
	除雪事業 道路等新設・改良事業 河川事業 道路維持事業	
	道路管理事業及びその他事業(うち駐輪場整備と適正化指導事業)	
	(参 考)	
	グラフ表・・・建設局事業費の推移(一般会計)	

1 平成 17 年度予算要求にあたっての基本的考え方

札幌市の中期財政見通しにおいては、一定の算定条件の下で 18 年度末には 265 億円の収支不足が見込まれ、厳しい財政運営が見込まれています。

このような状況の中、17 年度の建設局予算要求枠は、財政構造改革プラン¹(案)で公表された 18 年度までの取組項目について、着実に推進していかなければならないことから、対前年度一般財源比で経常的経費 4%と臨時的経費 20%の減と大幅なカットとなっており、大変厳しい状況が見込まれています。

一方で、本年度の建設局実施プラン²において掲げている、「道路・河川の整備・維持・管理等を通じ、市民の安心・安全で快適な生活を守ること」という使命を果たしていかなければなりません。

そこで、建設局としては、次の 4 点について重点事項と位置づけ、限られた財源の中で、効率的・計画的な予算編成となるように、予算要求をしています。

増え続ける道路や施設等の維持管理経費の増加への対応

財政状況の範囲内での札幌新まちづくり計画事業³を始めとする計画事業の着実な推進

選択と集中による事務事業の見直しによる効果的・効率的な執行

適正かつ積極的な自主財源確保の徹底

¹ 財政構造改革プラン：市役所改革のうち財政の改革をより具体化したプラン。平成 18 年度までに見込まれている収支不足を解消するための具体的な取組項目と、引き続き中長期的に検討を進めるべき課題が整理されている。

² 建設局実施プラン：施政方針「さっぽろ元気ビジョン」の実現を図っていくため、また、建設局の使命を着実に果していくために、市長との協議・確認を経て建設局長が策定した実施計画。このプランは、平成 16 年度の事務事業で建設局長が特に重要と考える事項を中心として策定している。

³ 札幌新まちづくり計画：さっぽろ元気ビジョンを実現するために策定するプランのひとつで、今後のまちづくりの考え方や、重点的に進める施策・事業などを定める中期実施計画。

2 平成 17 年度建設局予算要求総括表

【一般会計】

(単位：百万円)

区 分	平成 16 年度 予 算 額 (A)	平成 17 年度 要 求 額 (B)	増 減 額 (B) - (A) = (c)	増 減 率 (C / A × 100)
管理部	24,642 (19,099)	23,058 (17,962)	1,584 (1,137)	6.4% (6.0%)
うち雪対策室	15,674 (13,538)	15,012 (13,309)	662 (229)	4.2% (1.7%)
用地部	622 (0)	644 (0)	22 (0)	3.5% (-%)
土木部	44,256 (12,414)	38,074 (10,115)	6,182 (2,299)	14.0% (18.5%)
合 計	69,520 (31,513)	61,776 (28,077)	7,744 (3,436)	11.1% (10.9%)

- 1 派遣職員にかかる人件費は含まず
- 2 ()内は一般財源額
- 3 本表は百万円単位のため、増減額及び増減率が一致しない場合がある

【特別会計】

(単位：百万円)

区 分	平成 16 年度 予 算 額 (A)	平成 17 年度 要 求 額 (B)	増 減額 (B) - (A) = (c)	増 減率 (C / A × 100)
駐車場会計	2 4 8	2 3 9	9	3 . 6 %
公共用地先行取得会計	5 , 0 1 0	1 , 0 1 0	4 , 0 0 0	7 9 . 8 %
砂防用地先行取得会計	5 6 0	4 5 9	1 0 1	1 8 . 0 %

3 予算要求の重点事項

(1) 元気な経済が生まれ、安心して働ける街さっぽろ

世界の集客交流都市さっぽろの実現に向け、集客交流施設周辺の整備を行い、街の魅力を増加させるとともに、大学などの研究機関が持つ知の資産と産業を結びつけ新たな産業をつくっていくための施設整備を行う。

協働による観光振興とコンベンション事業の推進

1,466百万円(626百万円)

注:()内は16年度予算額

ア 集客交流施設へのアクセス道路整備(土木部) 1,466百万円

観光やコンベンション⁴の振興を図るため、集客交流施設へのアクセス道路を整備する。

(2) 健やかに暮らせる共生の街さっぽろ

市民の主体的なまちづくり活動を様々な側面から支援し、情報の共有や交流などを通じて、協働による地域のまちづくりを推進するため、町内会などの要望事項や意見交換などを受け、地域のまちづくりの一環として道路整備を実施する。また、高齢者や障がいのある人が地域で自立した生活を送ることができるようにするため、施設整備を行う。

魅力あふれる地域づくりの推進

790百万円(2,194百万円)

注:()内は16年度予算額

⁴ コンベンション:大会、会議、展示会、見本市、イベントなどの非日常的な人の集まりを核として、人や物、知識、情報、技術を呼び込むしくみ。

ア 地域との協働による道路整備（土木部） 764百万円

地域のまちづくり団体との協働により、地域の特性を活かした道路整備を実施する。

イ 市民と協働で進める川づくりの推進（土木部） 26百万円

地域が主体的に取り組むことで関心や愛着の持てる川づくりを目指し、計画段階からワークショップ⁵を開催するなど、住民との協働による川づくりを実施する。

また、河川の美化活動等を行う町内会やNPO等の河川愛護団体を支援する制度を試行的に実施する。

地域での高齢者・障がい者の自立支援の促進

475百万円（242百万円）

注：（ ）内は16年度予算額

ア 福祉施設・病院沿線のアクセス路整備（土木部） 475百万円

福祉施設・病院沿線のアクセス道路の整備を実施する。

(3) 世界に誇れる環境の街さっぽろ

日常生活や余暇活動など様々な場面でうるおいと安らぎを感じることで、できるまちづくりを推進するため、良好な水辺環境を保全するとともに、河川の水環境整備や水環境の改善に取り組む。また、地域特性に応じた効率的・効果的な雪対策を進めるとともに、歩行者と自転車が快適に利用できる空間の創出や魅力的で活力のある都心の再生などを実施する。

水とみどりのうるおいと安らぎのある街の実現

2,793百万円（3,306百万円）

注：（ ）内は16年度予算額

⁵ ワークショップ：専門家の助言を受けながら、参加者が共同で研究や創作を行う場。

- ア 多自然型川づくり事業（土木部） 2,697百万円【新まち等】
（うち多自然型河川整備事業 113百万円【新まち】）

自然豊かで親しみのある水辺環境を創出するため、治水事業に併せて、散策路や広場等の親水施設整備や、生物の生息環境に配慮した環境整備、治水整備完了河川の再生整備を行う。

【成果指標】

多自然型河川の整備延長

【目標】9.6km（H16） 10km（H17） 【効果】0.4km増

- イ 水と緑のネットワーク事業（土木部） 96百万円【新まち】

水枯れなど水辺環境の悪化している河川に、せせらぎを取り戻すために導水施設整備等を行う。

地球環境問題への対応と循環型社会の構築

5,261百万円（9,060百万円）

注：（ ）内は16年度予算額

- ア 渋滞対策に資する道路整備（土木部） 5,261百万円

交通渋滞によるCO₂を削減し、地球環境問題に対応するため、補助幹線道路等の整備を促進し、道路ネットワークの充実を図る。

北国らしいゆたかな暮らしの実現

3,312百万円（3,387百万円）

注：（ ）内は16年度予算額

- ア 冬の生活文化情報発信事業（管理部） 10百万円【新まち】

札幌（北国）特有のライフスタイルや生活文化に関心を持てるようなウェブページ⁶を集めたポータルサイト⁷を作成し情報提供を行う。併せて、市広報誌折込みなど雪対策事業についてのPRを行う。

⁶ ウェブページ：インターネットのホームページのこと。

⁷ ポータルサイト：インターネットでウェブページを見る際に、最初に入るウェブ-サイト。

イ 歩道の凍結路面对策による歩行環境の改善（管理部）

72百万円【新まち、レベルアップ等】
（うち32百万円【新まち、レベルアップ】）

冬期道路交通の円滑化と安全性の向上のため、公共施設周辺の歩道の凍結防止剤の散布及び砂箱の設置を行う。

【成果指標】

市民の協力による歩道への滑り止め材の散布

【目標】43%（H16） 47%（H17） 【効果】4%向上

ウ 地域に密着した雪処理の推進（管理部）

1,228百万円【新まち、レベルアップ等】
（うち21百万円【新まち、レベルアップ】）

冬期生活環境の充実を図るため、パートナーシップ⁸による市民・企業・行政のそれぞれが役割を分担し、連携しながら生活道路の排雪を行うとともに、地域で処理する地域密着型の雪処理体制を進める。

【成果指標】

市民とのパートナーシップによる除排雪

【目標】1,081件（H16） 1,090件（H17）【効果】9件増

エ 冬期交通円滑化に資する道路整備（土木部）

2,002百万円

排雪頻度を減少し効率的な雪対策を実施するため、適正な堆雪幅を確保した道路整備を実施する。

歩いて暮らせる快適で美しい街の創造

13,563百万円(12,644百万円)

注：()内は16年度予算額

ア 交通結節点改善事業（土木部）

230百万円【新まち】

自由通路、駅前広場の整備などJR白石駅周辺の改善を行う。

⁸ パートナーシップ：共同で何かを行うための、対等な協力関係のこと。

イ 歩道バリアフリー⁹化事業・無電柱化事業（土木部）

4,218百万円【新まち等】
（うち歩道バリアフリー化事業1,129百万円【新まち】、
無電柱化事業 3,089百万円）

歩道の段差解消や無電柱化による良好な歩行空間の確保を図るため、歩道バリアフリー化や電線共同溝整備を実施する。

【成果指標】

歩道のバリアフリー化の状況

【目標】38% (H16) 55% (H17) 【効果】17%向上

ウ 歩行者と自転車の共存する空間の創出事業（管理部）78百万円【新まち】

歩行者と自転車の共存を図りながら利用できる道路等の公共空間を創出し、市民生活の快適性の向上や都市機能の維持を図るために、以下の事業を実施する。

放置禁止区域内自転車対策業務
都心部における路上駐輪場の整備
自転車等放置禁止区域の拡大
都市型レンタサイクル¹⁰

エ 大通・駅前通の景観保全型広告整備地区の指定（管理部）

【新まち、レベルアップ】（予算計上なし）

都市景観形成地区に指定されている大通及び札幌駅前通について、「景観保全型広告整備地区」に指定し、不法占用物件に対する適正化業務と連携して、屋外広告物掲出のルールづくりや一定の規制を行う。

【成果指標】

都心部の歩行空間の屋外広告・看板の数

【目標】212個(H16) 212個(H17) 【効果】18年度以降に効果あり

オ 札幌駅前通地下歩行空間整備事業（土木部）

973百万円【新まち】

地下鉄「さっぽろ駅」と「大通駅」を連絡する公共地下歩行空間の整備を行う。

⁹ バリアフリー：高齢者や障がいのある人などが社会生活をしていくうえで障壁となるものを除去すること。

¹⁰ 都市型レンタサイクル：自宅から駅まで自転車を利用する人と駅から会社や学校まで自転車を利用する人が、2人で自転車を共有することにより、路上放置自転車の削減と駐輪場施設の有効活用を図る事業。

カ 創成川通アンダーパス¹¹連続化事業(土木部) 1,602百万円【新まち】

創成川通の2つのアンダーパスを連続化し、交通の円滑化を図るとともに親水空間を創出する。

キ 公共交通機関を支援する道路整備(土木部) 3,967百万円

公共交通機関の利便性の向上を図るなど、環境に負荷をかけない交通体系を確保するため、バス路線・電車通りの拡幅整備や自転車利用環境整備を行う。

ク 2連携1環状1バイパス11放射道路等主要幹線道路整備(土木部) 1,987百万円

都心への通過交通を抑制し、都市機能の低下を回避するなど都心の再生を支援するため、骨格幹線道路網である2連携1環状1バイパス11放射道路の着実な整備及び都心内の道路整備を実施する。

ケ 人と環境を重視した都心交通の実現に向けた道路情報網の整備(土木部) 508百万円

適切な道路情報の提供によって都心部への自動車の集中を抑制し、環境を重視した都心交通を実現するため、情報通信ネットワークの整備を行う。

(4) その他の重点事業

市民の安全と安心を確保し災害に強いまちづくりを進め、また、都市の計画的発展や都市機能の強化を行うため、道路整備や河川整備などの社会基盤の整備を行う。

1 施設の改修・改築

2,364百万円(3,811百万円)

注:()内は16年度予算額

¹¹ アンダーパス:線路や道路などを地下道の立体交差でくぐる構造のこと。

ア 災害防除・橋梁耐震補強（土木部） 684百万円

安全な道路空間を確保し、災害に強いまちづくりを進めるため、緊急輸送道路の橋梁耐震補強を実施する。

イ 事故危険箇所対策（土木部） 161百万円

交通事故を削減するため、事故死傷率の高い事故危険箇所での交通事故対策を実施する。

ウ 通学路整備（土木部） 1,519百万円

通学路の安全を図るため、小中学校周辺の歩道整備を実施する。

2 その他

9,438百万円（10,195百万円）

注：（ ）内は16年度予算額

ア 治水事業（土木部） 1,273百万円

市民の暮らしの安全と安心を確保するため、地域に身近な普通河川の河道整備や公共施設を活用した流域貯留浸透施設等¹²の整備を行う。

また、良好な河川環境を保全し、大雨などが降っても、流水を適切に処理できるように草刈りや浚渫などの河川の維持を行う。

イ その他公共施設整備（土木部） 8,165百万円

生活道路、その他の公共施設整備等を行う。

¹² 流域貯留浸透施設等：都市化の進展に伴う洪水被害を防止・軽減するため、公園や学校等のグラウンドを部分的に掘り下げ、敷地内に降った雨水を一時的に貯留・浸透する施設のこと。

4 事務事業の総点検

(1) 事務事業の見直し

一般事務費の節約や、効率的な執務による時間外勤務手当等の抑制

<見直し額107百万円>

施設の保守レベルや、維持管理業務の契約方法の見直しによる経費節減

<見直し額62百万円>

除雪作業等の効率化や、車両管理事務所の事務の効率化

<見直し額114百万円>

道路の清掃レベル等の見直し

<見直し額153百万円>

道路清掃事業の頻度(回数)を主に見直しする。

道路・橋りょう等の維持補修作業等の見直し <見直し額287百万円>

側溝・立体交差・橋りょう等維持補修の作業内容等の見直しや緊急性の高いものに重点化をする。

なお、<見直し額合計723百万円>は一般財源分である。

(2) 受益者負担

受益者負担項目	17年度予算額	主な改定項目
道路占用料	2,802百万円 <改定増46百万円>	看板類 870円(㎡/月) 1,000円(㎡/月)
堤防使用料	23百万円 <改定増1百万円>	類似の土地価格×5.00/100 5.25/100
土地境界証明手数料	1百万円 <改定増百万円未満>	2,500円/件 3,000円/件
測量成果交付手数料	17百万円 <->	2,200円/4枚,増400円/枚 一律550円/枚
屋外広告物許可手数料	52百万円 <改定増21百万円>	1,100円 1,900円(照明あり) 700円 1,300円(照明なし)

(3) 団体補助金

廃止 1 件

(単位：千円)

団体名	17 年度予算額	見直し額
北海道屋外広告業団体連合 会	計上なし	600

(4) 事業の選択と集中によるもの

<見直し額 2,713 百万円>

限られた財源の中で、新まちづくり計画に位置付けられた事業等を着実に推進するため、道路や街路などの新設改良事業を、より効率的・効果的に実施するとともに、事業の重点化・優先化を図ることとする。

5 主要事業の概要(トピック)

建設局って何をしているの？

建設局では、道路・河川の整備・維持を通じ、市民の安心・安全・快適な生活を守るためのいろいろな事業を行っています。ここ数年は国の公共事業の削減などにより、建設局の事業費は減少し続けていますが(最終ページ：グラフ表参照)、内部効率化など事務事業の見直しを行う一方で、ワークショップなどによる市民意見を踏まえ、事業の重点化、優先化を図りながら、特に毎年市民要望の強い除雪を始めとして、市民生活に密着した生活道路に予算が確保できるよう要求しています。

具体的には？

総事業費 617億7600万円は、市民自治と局改革の推進をしながら、公共事業のより効率的・効果的執行に努め、

交通の円滑化を図るための道路等の整備

都市機能の維持のための除排雪

快適な歩行者のための空間の創出

などの事業に使われます。

除雪事業 150億1,200万円

除排雪については、狭小バス路線の排雪に取り組むなどの渋滞緩和対策や簡易砂箱の設置などのツルツル路面対策を充実します。

また、雪対策関連施設では、新たに地域密着型融雪槽整備(伏古)に着手します。

【除排雪の強化】

- ・狭小バス路線の排雪
- ・交差点の排雪
- ・歩行者用簡易砂箱の設置
- ・ツルツル歩道の滑止剤散布

【雪対策施設整備(新規分)】

- ・地域密着型融雪槽整備(伏古)

道路等新設・改良事業 346億2,500万円

幹線道路網等の整備による交通の円滑化を図るとともに、魅力ある都心空間の創出、歩道の無電柱化・バリアフリー化などによる、安心で快適な歩行空間を実現するための道路整備を推進します。

都心の再生 創成川通アンダーパス連続化事業、札幌駅前通地下歩行空間整備事業ほか

幹線道路整備 主要道道札幌北広島環状線ほか

立体交差新設 北郷通、富丘通ほか

交通結節点改善 JR白石駅周辺地区

歩道バリアフリー化 都心地区・副都心地区・麻生地区

歩道無電柱化 真駒内篠路線ほか

生活道路整備 市内一円

河川事業 40億9,200百万円

洪水氾濫を防止する河川改修に併せて、自然豊かで親しみのある水辺環境を創出する多自然型川づくり事業や枯渇河川にせせらぎを回復する導水施設整備を行うなど、暮らしの安全と安心を確保し、水とみどりのうおいのある街づくりを推進します。

多自然型川づくり事業	雁来川・篠路川・西真栄川ほか
水と緑のネットワーク事業	創成川ルート(鴨々川)
協働で進める川づくりの推進	西野川・鴨々川ほか
河川の適正な維持管理	河川の草刈、浚渫ほか



市民参加による道路改良計画の検討



歩道バリアフリー化のための市民参加型のフットチェック

道路維持事業

48億6,300万円

本市が管理する道路の効率的かつ効果的な維持補修および清掃、道路付属物である施設・設備の維持管理の実施をします。

道路管理事業及びその他事業

31億8,400万円

市道認定・台帳整備・道路管理システムの運用などの管理業務を行います。

(うち駐輪場整備と適正化指導事業 2億3,000万円)

(自転車対策)

歩行者と自転車の共存を図りながら利用できる道路などの公共空間を創出し、市民生活の快適性や都市機能の維持を図るため、次の事業を実施します。

“放置禁止区域”内の自転車対策(放置自転車の撤去等)

- 都心部の「路上駐輪場」の整備
- 自転車等放置禁止区域の拡大
- 都市型レンタサイクル事業の実施

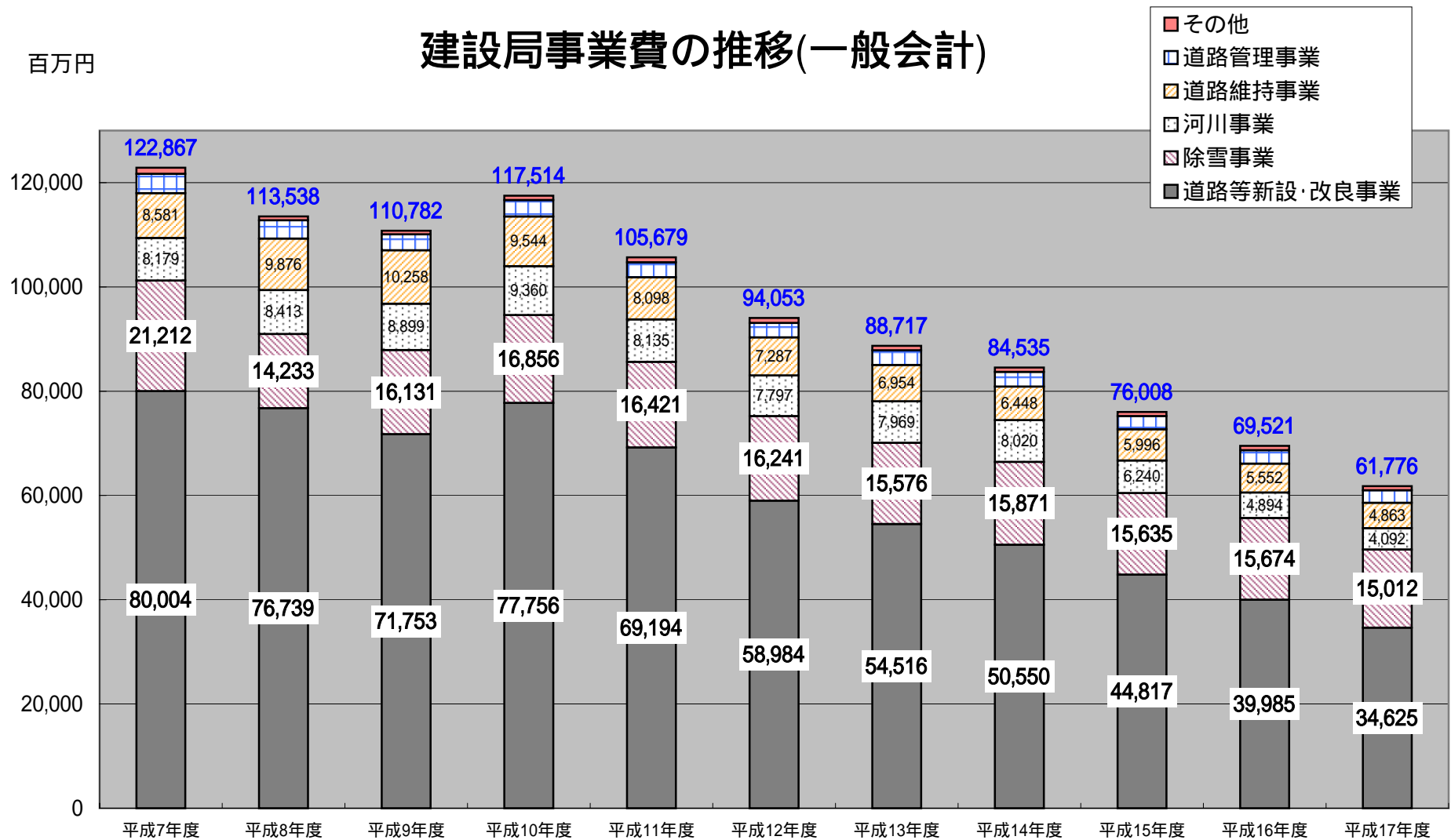
(広告物対策)

本市の都心部である大通と札幌駅前通を、『景観保全型広告整備地区』に指定して、広告物を掲出する際のルールづくりを行い、良好な景観形成と快適な歩行者空間の創出を目指します。

また、これにあわせて、道路上の不法占用物件(看板など)に対する適正化事業を実施します。

建設局事業費の推移(一般会計)

百万円



注) 平成15年度までは決算額、平成16年度は当初予算額、平成17年度は予算要求額である。